



第23号

発行
成相山成相寺

京都府宮津市字成相寺339

TEL0772-27-0018

http://www.nariaiji.jp/

諡と戒名

今年もまた、清々しい新緑の季節が訪れました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

昨日まで枯れ樹の様相だった大木が、晩で、淡い緑の葉を生い茂らせる光景は、毎年の事ながら、感動致します。

今年の春は、新元号の発表から始まり、天皇陛下の御退位。そして徳仁皇太子様の天皇御即位と、御目出たい行事が続きました。十連休は、凄い人出で、休む間も無く御朱印書きに明け暮れた毎日でした。

やっとお寺も日常の静けさを取り戻し、庭の椅子に座り、雑草の伸びる速さを眺めております。

先の天皇陛下は、御退位なさいまして、上皇陛下に御成になられました。

よく「平成天皇じゃないの？」と言われてますが、これは、諡（おくりな）と申しまして、お亡くなりになられてからの御名前です。ですから、間違いです。以前にも国会で議員の方がこの間違いをされたのを記憶しておりますが、なかなか、知らない事は多いですね。

この「諡」と言う物は奈良時代後期に入ってから、淡海三船と言う人が漢風諡号として、神武天皇（初代）から元正天皇（四十四代天皇）までの天皇を一括撰進したと記されているそうです。その後は多々の変遷を繰り返し現在の在位中の元号をそのまま転用して諡とする様になったそうです。

「弘法大師」これも諡です。

お大師様は、御入定なさいましたのが承和二年（八三五年）です。この後、延喜二十一年（九二一年）に醍醐天皇よりこの「弘法大師」の諡号（しごう）を頂かれます。八十六年の年月を要しております。

諡号とは仏教で言う「戒名」に通じる物と考えます。諡や諡号は身分の高い方々に生前の功績を讃えて贈られた物ですが、「戒名」は一般の仏教徒が誰でも亡くなって仏の世界に旅立つときに付けて頂く名前です。

先日檀家様の大奥様がお亡くなりになり、戒名を付けるのに色々考えました。優しい人でした。「慈」と言う字を使うか。元気ににゲートボールを楽しんで

おられた「健」と言う字にしようか。それだけではない、この方の生きてきた人生にびつたりな字は何だろう。九六才の方、戦争も困窮も繁栄も乗り越えてこられた方。何が良いだろう。と、何時も延々と考えております。

最近「戒名」と言う直ぐに「料」が話題になって、人によっては「戒名は結構です」とはつきり仰る方や、葬儀の後の四十九日法要も要らないと仰る方もいらつしやるそうです。この四十九日というのは、亡くなった方がこの世から仏様の世界に行くために修行をする期間です。そして、世話になった人や家族に別

れを告げる時間だとも言われております。中陰を経て仏様の世界に旅立って行かれるのです。
時代の変遷でこれから戒名、葬儀、法要と色々変わってくるのかもしれないね。これは誰にも止められないことかもしれません。

しかし、日本には天皇制という他国にはない制度があり、是は未来永劫続いて欲しいと願います。上皇様の御退位の折のお言葉で「象徴としての私を受け入れ支えてくれた」と仰いました。これも時代の変遷ですね。

成相寺は天皇勅願のお寺です。国家鎮護・皇室繁栄などを祈願して創建されたお寺です。これからも時代と共に変わる物、変わらない物を見つめながら、大切にしたいいけない物を大事に守りながら、毎日勤めていきたいと思えます。

南無観世音菩薩

弘眞



BS朝日「京都ぶらり歴史探訪」中村芝翫

放送予定日

2019年7月9日（火）

19:00 ~ 22:54

是非ご覧下さい。

山内順礼 番外編

あなただけのお地藏さまを建立致しましょう



成相寺の境内にあるお地藏様は、「一願一言地藏」と呼ばれ、古くから多くの人々の信仰を集めるお地藏様です。

余計なことを考えず、本当に必要な一つのことだけを一心に想い、一言でお願い事をすると、必ずかなえてくれるということから一言地藏と呼ばれております。

地藏菩薩とは、辻や田畑の脇から我々衆生を古くから見守り、その無限の大慈悲をもって苦悩から救ってくださる一番身近な仏様であります。

「願い」とは自分の力だけで叶うものではありません。様々な「縁」がたがなり、結果として「願い」は叶っております。

つまり自分だけではなく、あらゆる人々の幸せを願うことで、その幸せが巡り巡って自らに帰ってくるのです。

これを仏教では「廻向」といいます。

先日より、本堂でご案内致しておりますが、ひとこと地藏さんにお参りされましたら、境内に自分だけのお地藏さまを建立していただき、自らの幸せと一緒に人々の幸せの為に「お願い」をしてみたいかがでしょうか。



第二十九番札所の松尾寺を訪れた参拝者 (舞鶴市松尾)

文化庁が本年度「目録」の「美人観音」や「身味を持つともい、信仰の対象としての仏様」に西国三十三所観音巡礼を認定した聖観世音菩薩が本尊。20日、府北部の第29番札所「成相寺」(宮津市)に参拝した。708年に唐の僧、威光上人の創建と伝わる松尾寺は三十三札所唯一、馬頭観世音菩薩を本尊にまつ。松尾象空住職(59)は「御朱印ブームで外国人を含め、参拝者が増えている。三十三札所にまつわる風習などを知ってもらうきっかけになれば」と願う。

同寺を参拝していた兵庫県尼崎市の会社員中西克嘉さん(45)は「西国三十三所は巡礼の道で最も歴史が古く、多くの札所が身近な関西にある。選ばれてうれし」と喜んだ。(石田真由美 天童愛理)

「西国三十三所」日本遺産に 宮津・成相寺 舞鶴・松尾寺 府北部 喜びと期待



日本遺産に認定された「西国三十三所観音巡礼」を構成する第二十八番札所の成相寺(宮津市成相寺)